

佐藤太清賞公募美術展

第16回 福知山市

【佐藤太清賞】 絵画



開藤 菜々子 「をちかた」

日本画

【佐藤太清賞】



岡田 奈津実 「玉葱」



松井 菜那 「探」



大澤 文佳 「この世にうまれて」

福知山会場	2016.12.23(金・祝)～2017.1.15(日) 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日/火曜日、年末年始(12月28日(水)～31日(土)、及び平成29年1月4日(水)～6日(金)) 入館料/大人210円・子ども100円 特選以上及び福知山市近郊の作品のみ展示	福知山市佐藤太清記念美術館
福知山会場	2017.1.20(金)～22(日) 午前10時～午後6時 期間中無休	福知山市厚生会館 入場無料
横浜会場	2017.1.26(木)～29(日) 午前11時～午後6時 期間中無休	横浜赤レンガ倉庫1号館 入場無料
東京会場	2017.2.9(木)～12(日) 午前9時30分～午後5時 期間中無休	成増アクトホール 入場無料
京都会場	2017.3.8(水)～12(日) 午前10時～午後6時(8日は午後1時から、12日は午後5時まで) 期間中無休	京都文化博物館 入場無料
名古屋会場	2017.3.14(火)～20(月・祝) 午前10時～午後6時(20日は午後5時まで) 期間中無休	名古屋市民ギャラリー矢田 入場無料

- 審査員(順不同・敬称略)
- 中路 融人
 - 絹谷 幸二
 - 草薙 奈津子
 - 大矢 鞆音
 - 畑 智子
 - 福田 千恵
 - 村居 正之

- 審査作品
- 絵画の部 64点
 - 日本画の部 65点
- 入賞・入選作品
- 絵画の部 40点
 - 日本画の部 28点

主催/京都府福知山市・福知山市佐藤太清記念美術館
 共催/横浜赤レンガ倉庫1号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
 名古屋市民ギャラリー矢田(公益財団法人名古屋市文化振興事業団)
 後援/文化庁・京都府・京都府教育委員会・東京都板橋区
 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・公益財団法人名古屋市文化振興事業団・京都文化博物館(公益財団法人京都文化財団)
 朝日新聞京都総局・毎日新聞京都支局・読売新聞京都総局・産経新聞社京都総局・NHK京都放送局・京都新聞・KBS京都
 両日新聞社・神奈川新聞社・tvk(テレビ神奈川)

問い合わせ 「佐藤太清賞公募美術展」事務局 TEL.0773-23-7021
 福知山市佐藤太清記念美術館 TEL.0773-23-2316

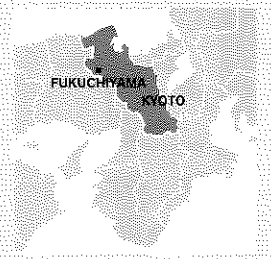


<http://www.f-artcontest.com>

SATO TAISEI PRIZE
ART EXHIBITION IN FUKUCHIYAMA

第16回
福知山市

佐藤太清賞公募美術展



京都府福知山市出身の文化勲章受章者 故 佐藤太清は、現代日本画壇の重鎮として後進の育成にも心を注がれ、現在第一線で活躍する多くの日本画家を送り出されてきました。

福知山市は、その功績を讃え、その志を受け継ぐため、21世紀の芸術文化を担う人材の育成を目的として、高校生・大学生を中心に全国から絵画作品の一般公募を行っています。

今回は、絵画の部64点、日本画の部65点の審査作品の中から、佐藤太清賞、特選、入選に選ばれた68点(絵画の部40点、日本画の部28点)を展示いたします。

絵画の部 総評

文化功労者・洋画家・日本芸術院会員・東京芸術大学名誉教授

絹谷幸二

第16回を迎えた佐藤太清賞公募美術展絵画の部は、年ごとに作品の質が良くなって来ている感があり、審査をする方も毎年楽しみにしています。今年は63名の出品者の64点の作品を繰り返し数度の審査をした結果、40点の作品が選ばれました。その後、再び選別が行われ12点の入賞作が決まりました。

佐藤太清賞3点のうち、岡田奈津実さんの「玉葱」は、どこにでもある野菜をていねいに写実することにより、玉葱の質感・ボリューム感、そして構図共にすぐれていました。同賞の「探」を描いた松井菜那さんは大自然の巨石の隙間にもぐり込んで遊んでいる童心をのびやかな感性で描き、作者のやさしい心と巨石が共鳴してすがすがしい作になりました。また、同賞、大澤文佳さんの「この世にうまれて」は誕生の奇跡の瞬間を描き切って、みごとだと言えます。

太清賞のこの3作はいずれも人や自然に対する愛とヒューマニティーに富む秀作だと言えます。

福知山市長賞の井上美香さんは日常の「至福のとき」をうたた寝の中に描き、板橋区長賞の松村優里香さんは鏡に写るご自身でしょうか、二つ合わせの顔をていねいに描写し、横浜賞の並木咲さんは前面に出る手のしぐさが心のありようをさし示している様で、その心理がみごとに描き出されています。

さて、ほかの特選の6作はいずれも、そのたぐいまれな描写力で独自の画風を創作しています。高田麻衣さんはお店の入口をさりげなく描き、道端の空気感が良く出ていると思います。景井享平さんはアイデア、知力にすぐれ、長谷川真理華さんは水辺の静寂感がきわだっています。

また、森彩乃さん、近藤茉由さん、船越友理奈さん共に絵に真摯に取り組んでいる姿が画面にあらわれていると思います。

他の入選者、また惜しくも選にもれた皆様の中にも絵を描く楽しさがひしひしと伝わって来ました。今後のご努力を期待しています。

■問い合わせ 「佐藤太清賞公募美術展」事務局

〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町2-29-2
KIKUYAビル301号 (株)ファイル21内
TEL. 0773-23-7021 FAX. 0773-23-5608
E-mail info@f-artcontest.com
※土・日・祝日は、福知山市佐藤太清記念美術館へ
お問い合わせください。TEL. 0773-23-2316

<http://www.f-artcontest.com>

日本画の部 総評

美術評論家・津和野町立安野光雅美術館館長 大矢鞆音

今年の応募作品は61人、65点ということで、去年の76人、81点を下回ったのは若干残念に思ったのだが、結果的にはよい作品がそろったと思う。一見ぱっと目につくような、飛び込んでくるような作品こそ見当たらなかったが、じっくり見ていく中で、味わい深い作品が残っていった。一昨年、佐藤太清生誕100年展のお手伝いをしたとき、久しぶりに太清先生の作品を見ることができた。静かな、澄み切った、そして意外に骨太に感じられる日本画の正統を歩んだ太清作品のたずまいを、それらの作品に重ねて思い出していた。

佐藤太清賞に推された開藤菜々子さんの「をちかた」。遠い所という古語であろうか、湖に取材した静かな景観は心をとらえた。全体に箔足の残る画面に十分な仕事の後を見ることができ、画面上部に対して下部の仕事ぶりに、この画家の力を感じた。板橋区長賞の角谷紀章さん「名の木枯る」も同じような印象を受けた。川の流れの淀みを想起させる表現。静かさに満ちた作品である。川を覆う木々、川をまたぐ橋、ともに主張するような強さはない。そしてまた福知山市長賞の本田貴哉さん「ひなた」も一見地味に感じられる色調、モチーフであるが、見る人を惹きつける。何の表裏もない薄い黄土色に何色もの色を想像させる。これら3点の作品とも抑制のきいた色調で《余情》を感じさせる作品である。そして横浜賞の梅里香澄さん「透視能力」。一転して鮮やかな色調、モチーフの意外性。新しい絵画世界を感じさせる作品である。松本啓利さん「蒼氓」の色彩に魅力的なものを感じた。

若い画家たちの新しい創作への試みを楽しく見ることができたことはうれしいことであった。

展覧会場連絡先

- 福知山** 福知山市佐藤太清記念美術館
京都府福知山市字岡ノ32-64 TEL.0773-23-2316
- 福知山** 福知山市厚生会館
京都府福知山市字中ノ170-5 TEL.0773-22-4955
- 横浜** 横浜赤レンガ倉庫1号館
神奈川県横浜市中区新港1-1-1 TEL.045-211-1515
- 東京** 成増アクトホール
東京都板橋区成増3-11-3-405 TEL.03-5998-6881
- 京都** 京都文化博物館
京都府京都市中京区三条高倉 TEL.075-222-0888
- 名古屋** 名古屋市民ギャラリー矢田
愛知県名古屋市中区大幸南1-1-10 カルポート東3階
TEL.052-719-0430